

紙風船



算数の校内研究会を開きました

11月14日(木)、南教育事務所から指導主事の先生を迎え、算数の授業研究会を開きました。1年生にとっては初めての研究授業です。いろいろな種類の箱を、いくつかの仲間に分ける学習でした。たくさんの先生方に囲まれ、緊張したと思いますが、友達と力を合わせて問題を考えたり、ハキハキと発表したり、いつも通りの授業を見せてくれました。指導主事の先生からも、「みんなに向かってきちんと発表することができる」「話す人の方を見て真剣に聞くことができる」「友達の発表に、「同じです」「いいですね」などの言葉をかける温かい雰囲気の学級だ」「感想などもきれいな字でたくさん書くことができる」など、たくさんのことを褒めていただきました。



みんなに聞こえるように発表ができました。



友達と話し合いながら、仲間分けをすることができました。

せんぼく校の友達を迎えて

6月には、6年生がせんぼく校に行って楽しく交流をしてきました。11月7日(木)には、そのお礼に、5・6年生がせんぼく校のみなさんを椴木内小に招待して交流を深めました。6年生は、せんぼく校の友達の名前を覚えており、「〇〇ちゃん、こっち」と手招きしたり迎えに行ったりして、すぐに打ち解けた雰囲気になりました。

自己紹介の後、「じゃんけん列車」「絵合わせゲーム」「ウォークラリー」などをしました。5・6年生の描いた動物の絵を探したり、顔出し看板と一緒に写真を撮ったりと笑顔が一杯の交流でした。ゲームの合間にも、好きな食べ物を聞いたりトイレを案内したりしてすっかり仲良くなりました。せんぼく校のみなさんは、5・6年生をお兄さん、お姉さんのように感じていたようです。スクールバスに乗ってからも、いつまでも手を振って別れを惜しんでいました。



じゃんけん列車ですぐに仲良くなりました。



体育館いっぱい使って、絵合わせゲームをしました。

疑似体験を通して福祉について学ぶ

18日(月)は、社会福祉協議会から6名の職員の方々にお出でいただき、3・4年生が福祉について学習を深めました。車椅子に乗ってみたり、目隠しをして白杖を使って歩いたり、体におもりやゴーグルなどをつけ体を動かしたり、細かい作業をしたりと、たくさんの体験をしました。

視覚障害体験では、見えないことはもちろんのこと、音も別の方向から聞こえてくるようで怖かったようです。

また、軍手をはめた手で新聞をめくったり折り紙をしたりする体験では、イライラしながら体験したようです。困っている人を見かけたら手伝えることも大切ですが、まずは「お手伝いできることはありますか？」という一言が大切、ということも教えていただきました。



鎌足和紙の紙すき体験をしました



12日(火)に5・6年生、19日(火)に3・4年生が、かたくり館で紙すきを体験してきました。

普通に持つと軽い箕桁(すげた)ですが、これに紙の原料が入ると重く、また水の抵抗もあり、結構大変でした。しかし子どもたちはすぐにコツをつかみ、一枚目は館長さんに手伝ってもらいながら、二枚目は自分一人で紙を漉くことができました。



質問もたくさんして、鎌足和紙の歴史についても知ることができました。漉きあがった紙は、一人一人厚さや雰囲気違います。また一枚の紙でも、紙の繊維が模様のように浮き出たり、薄くなって透けるようになっていたり、手漉きならではの表情のある、世界で一枚だけの和紙になりました。この後図工の時間に自分で漉いた和紙を使って作品をつくります。どんな作品になるか、お楽しみに！